

(様式)

令和6年度 弓道部の指導方針等について

令和 6 年 4 月 1 日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	北上 桜子	松川 晃	教士 四段	週 1 日
副顧問	大杉 恵子			
副顧問	夏野 星奈			

2 年間目標

- (1) 高水準の目標を達成させるために、強い精神力と高い射技・何事にも動じない集中力と体幹を身に着けさせる。
- (2) 都大会入賞・関東大会出場・全国大会出場を目指す。
1年初段・2年弐段を目指す。
学業との両立を第一に考える。
- (3) 青梅市弓道連盟の行事に参加することで地域との交流や情報交換を積極的に行う。

3 指導方針

- (1) 日々の練習に加え練習試合や合宿で実力を蓄え、各大会で入賞する。
- (2) 単位を落とした者は一定の期間勉強に専念させる。または退部とする。
- (3) 謙虚な姿勢と礼儀を重んじて行動させる。
- (4) 定期的に審査を受けさせ、刺激と達成感を感じさせる。

4 指導内容・方法

(1) 体罰・暴言等のない指導

顧問、外部指導員間で体罰・暴言等のない指導についてミーティングの場をこまめに設け、共通理解を図る。

(2) 生徒間の暴力禁止

暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。
暴力や著しくマナーに欠ける行為をしたものは退部とすることを周知させる。

(3) 外部指導員の活用

顧問と外部指導員のそれぞれの役割について基本的な考え方を示し、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。また、生徒にもそれを周知させる。

(4) 事故防止・安全配慮

矢取りの際の徹底した声掛けと合図を行う。
巻き藁練習の際は半径 1.5m の距離を厳守させる。
私語やたるんだ取り組みをする生徒は練習に参加させない。

5 主な年間計画

学 期	月	内 容
1 学期	4	高体連総会 関東大会予選
	5	
	6	東京都総合体育大会
	7	夏季休業中 練習及び練習試合
	8	東京都個人選手権大会
2 学期	9	(関東大会・個人)
	10	秋季大会
	11	新人大会
	12	武道合同稽古 冬季休業中 練習及び練習試合
3 学期	1	遠的講習会
	2	春季遠的大会 東京武道館杯
	3	春季休業中 練習及び練習試合